

柳井支部事業報告

支部長 松井由美子

活動目標	1.地域における看護職の連携強化、看護の質の向上 2.支部活動を通して、親睦、情報交換の場とする
評価と今後の課題	1)支部集会、一般教育研修の参加者を68人以上に増加させる取組を行う。 2)3支部合同看護マネジメント研究会の参加者は123人で、R6年度より30人多かった。保健師16人、助産師2人、介護福祉士1人の参加があった。アンケート結果より講演内容は、大変良かった60%、良かった34%であった。また、大変役立つ50%、役立つ48%であった。自由記載では、「身近で実践的なテーマが多く、非常に勉強になった」「多職種・行政・地域包括ケアに関する発表が有意義だった」という意見が多数あった。本研究会は今後も開催する意義がある。 3)まちの保健室は、行政と連携して地域のイベントや祭りで実施した。次年度は認定看護師(認知症看護認定看護師・摂食嚥下障害看護認定看護師等)に依頼し、まちの保健室に相談コーナーを設置していきたい。 4)「柳井支部訪問看護ステーション等の見学実習」では、各実習生が実習目的を達成し、多くの学びと気づきを得ることができた。特に病院と在宅での違いを目の当たりにし、退院支援の重要性を再認識できた。10月から意向調査を実施してマッチングを行い1月末までに実習を終了することは時間的に無理があるため、次年度は年度初めより意向調査を実施し、より多くの看護師が実習できるよう取組みたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 R7.7.5 周東総合病院にて開催 参加者68人 講演会テーマ:「認知症の関わり方とACP」 講師:周防大島町立大島病院 認知症看護認定看護師 屋敷葉子 2)第6回3支部合同看護マネジメント研究会(柳井支部主催) R8.2.7周東総合病院にて開催 参加者123人(柳井支部45人) 演題10(柳井・岩国各3題、周南4題)
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 県協会主催事業参加への働きかけを行った。
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護週間」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事の開催は各施設で状況に応じて実施した。 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室 ※行政と連携して地域のイベントや祭りで実施 R7.4.6たぶせ桜まつり(参加者117人)、R7.7.26市民公開講座(参加者44人)、R7.8.13柳井きんぎょちょうちん祭り(参加者44人) (2)国際助産師の日事業 各施設で状況に応じて実施 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (検討会9/25・2/12に実施) 「柳井支部訪問看護ステーション等の見学実習」を要項に添って実施した。訪問看護ステーション4事業所、地域包括支援センター3事業所にて病院の看護師8人(R6年度より3人増)が実習した。
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)会員確保のための取り組み、表彰候補者の推薦 支部役員会及び在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会にて呼びかけを行った。今後も呼びかけを継続する。
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)地域会議への出席 (柳井医療圏地域医療構想調整会議2回、柳井市高齢者保健福祉推進協議会1回) 2)看護学校3校(柳井学園高等学校、平生看護専門学校、大島看護専門学校)に入学式・卒業式の祝電を打った。 3)支部集会をR7.7.5に開催した。(出席者68人・委任状338人、406人/517人) 4)支部役員会・支部委員会は6回開催した。 5)広報活動 ①県協会会報「きらめき」163号への投稿を行った。